



議会だより

3月定例会号

令和3年4月30日発行

No.154

こうみ

町のお金はどのように使われます

2

3月議会 第1回定例会

こんなことが決まりました

4

議案質疑

6

一般質問

8

各常任委員会からの要望・編集後記

14

2020フォトコンテスト出展作品

大賞 「春望」 奥原静男

きかせて みなさんの夢

みなさんの未来に寄り添うまちに

ように使われます

令和3年度一般会計当初予算 39億4,600万円
前年度対比3.6%減

令和3年度第1回定例会が3月2日から3月23日までの22日間の会期で開催されました。令和3年度予算については2日間にわたる予算決算常任委員会で慎重審議を行いました。

■一般会計（賛成多数で可決）

会計名及び内訳	令和3年度 当初予算	構成割合 %	対前年度当初予算	
			増減額	増減率 %
一般会計総額	39億4,600万円		△1億4,800万円	△3.6
・議会費	6,854万円	1.7	17万円	0.3
・総務費	6億800万円	15.4	△1億4,504万円	△19.3
・民生費	7億6,999万円	19.5	1,252万円	1.7
・衛生費	5億1,950万円	13.2	1億8,188万円	53.9
・農林水産費	1億7,421万円	4.4	△2,382万円	△12.0
・商工費	3億8,118万円	9.7	445万円	1.2
・土木費	2億8,166万円	7.1	3,320万円	13.4
・消防費	1億5,031万円	3.8	△960万円	△6.0
・教育費	4億4,538万円	11.3	△2,519万円	△5.4
・災害復旧費	5,700万円	1.5	△2億円	△77.8
・公債費	4億8,523万円	12.3	2,393万円	5.2
・予備費	500万円	0.1	△50万円	9.1

■特別会計（全員賛成で可決）

会計名及び内訳	令和3年度 当初予算	対前年度当初予算	
		増減額	増減率 %
国民健康保険	5億3,100万円	100万円	0.2
介護保険	6億8,607万円	△1,870万円	△2.7
後期高齢者医療	7,929万円	△84万円	△1.1
水道事業（収益的収入）	9,400万円	240万円	2.6

町のお金はこの

令和3年度主な重点事業

総務費

● 憩うまちこうみ関係事業費

1,232万円

人材教育、モニターツアー実施、オンライン企業セミナーなどを実施します。

総務費

● 本間 村上地籍宅地造成調査設計 (新規)

3,500万円

35区画程度を予定しています。

民生費

● 児童館遊戯室エアコン設置 (新規)

220万円

熱中症対策及びソーシャルディスタンス確保のため遊戯室にエアコンを設置します。

衛生費

● 新型コロナウイルスワクチン接種関係費用

3,367万円

ワクチン接種に関する相談の窓口を開設します。

衛生費

● 町営住宅建設 (新規)

1億700万円

大畑地区に町営住宅を建設します。

農林水産費

● 特産品関係

822万円

特産品の加工、販売促進に努めて参ります。

商工費

● 観光拠点センター周辺整備 (新規)

2,535万円

レンゲつつじの植生回復、笹刈を行うなど観光拠点センター周辺の整備を行います。

商工費

● 八峰の湯大改修 設計委託料

2,000万円

令和4年度に予定している大規模改修に向けた設計委託料です。

土木費

● 道路改良工事、橋梁補修業務

1億1,600万円

新田小海原線の未改良区間の工事と橋梁の長寿命化計画に伴い令和3年度は下屋敷橋の工事を行います。

教育費

● 特別教室へのエアコン整備

1,700万円

小海小学校の図書室・理科室・音楽室など6室にエアコンを整備します。

主な歳入予算額

町 税

町民税や固定資産税等の税金

5億 5,376万円

構成割合 (14.0%)

地方交付税

行政運営に国から交付されるお金

17億 2,000万円

構成割合 (43.6%)

国・県支出金

国・県が負担するお金

4億 152万円

構成割合 (10.2%)

町債 (町の借金)

主に建設事業に充てるために借り入れるお金

3億 4,920万円

構成割合 (8.8%)

こんなことが決まりました

令和2年度一般会計補正予算（第8号） 全員賛成で可決

5,361万円を減額補正 総額51億5,699万円

【歳出の主なもの】

●総務費	△2,946万円
●商工費	△6,220万円
●教育費	△2,500万円
●予備費	1億608万円

【財源の主なもの】

●地方交付税	8,613万円
●使用料及び手数料	△2,994万円
●諸収入	△6,373万円
●町債	△5,410万円

令和2年度 特別会計補正予算（第4号） 全員賛成で可決

国民健康保険事業特別会計	138万円減額補正	総額 5億8,469万円
介護保険事業特別会計	2,068万円減額補正	総額 6億8,333万円

人事案2件、規約変更案等2件、契約議決案1件、条例案8件、当初予算案5件、補正予算案3件の合計21件で審議が行われ、案件が可決・同意されました。

一般質問は、6名の議員により行われ、町の考えをただしました。

人事案

農業委員会委員の任命同意

矢坂実也氏（稲子）が全員賛成で同意されました。任期は前任者の残任期間で令和3年4月1日から令和5年1月31日までです。

教育長の任命同意

中島行男氏（芦谷）が全員賛成で同意されました。任期は令和3年4月9日から令和6年4月8日までの3年間です。

規約

佐久広域連合規約の変更

佐久広域連合の処理する事務から血液保管所の設置及び管理に関する事務と畜場施設の設置及び管理に関する事務の廃止に伴う改正です。 **全員賛成で可決**

南佐久郡児童生徒就学相談委員会共同設置規約の変更

就学相談委員会の事務局を小海町教育委員会から南牧村教育委員会に変更するものです。 **全員賛成で可決**

3月議会 第1回定例会で

契約議決

建設工事請負契約の変更について

農林施設災害復旧工事 宮下水頭首
工の工期を1年延長し令和4年3月25日
とするものです。
全員賛成で可決

条例改正

小海町宮路線バス設置条例の一部を改
正する条例

町民の買い物やバス利用の利便性を高
めるためバスの運行路線を変更するもの
です。
全員賛成で可決

キャリアフル小海事業レクリエーショ
ン施設の設置及び管理に関する条例の一
部を改正する条例

新規施設の設置を明記すると共に、各
シーズンを通じて利用料金を柔軟に設定
するため、利用料金の規定を改正するも
の です。
賛成多数で可決

小海町奨学金貸与条例の一部を改正す
る条例

条例制定から20年以上が経過し授業料
や家賃などの学生を取り巻く環境が変化
していること、またコロナ禍で学生及び
保護者の経済的不安が増していることな
どから貸与額並びに償還期間を変更する

ものです。

全員賛成で可決

小海町医療費の支給に関する条例の一
部を改正する条例

18歳に達する日以降の最初の3月31日
までの間にある者の柔道整復施術療養費
を窓口無料化とするものです。
全員賛成で可決

小海町国民健康保険条例の一部を改正
する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法
等の一部を改正する法律が公布されたこ
とに伴う改正です。
全員賛成で可決

小海町介護保険条例の一部を改正する
条例

第8期（令和3年度から令和5年度）
の介護保険料について定めるものです。
賛成多数で可決

小海町後期高齢者医療に関する条例の
一部を改正する条例

延滞金について地方税法の特例基準割
合に倣って改正するものです。
全員賛成で可決

小海町移住定住促進施設の設置及び管
理に関する条例の一部を改正する条例

移住定住促進施設に大畑地区の施設を
加えるものです。
全員賛成で可決

第1回定例会で賛否が分かれた議案（賛成多数）

（○は挙手）

(議員氏名)	古谷 恒晴	渡辺 均	井出 幸実	井上 一郎	小池 捨吉	有坂 辰六	篠原 伸男	篠原 義從	的埜美香子	井出 薫	新津 孝徳	鷹野 弥洲年
(議案名)												
議案第6号 キャリフル小海事業レクリエーション施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
議案第10号 小海町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	議長職
議案第13号 令和3年度小海町一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	

議案質疑

小海町奨学金貸与条例の一部を改正する
条例

Q 奨学金の額を上げるより貸付条件を緩和してはどうか？

A 貸し付け条件の緩和は考えておりません。大学等へ進学される際に入学金相当の30万円の支援をしておりません。

令和3年度一般会計予算

Q 財政調整基金について県の指導とは？

A 現在、財政規模40億弱のうち半分相当の額が財政調整基金として積み立てられています。それならば地方交付税をあてにせず財政調整基金を先に使うようにとの指導です。

Q 財政調整基金の目的を分かりやすく、使いやすくして頂きたい。基金のあり方を、一般的な貯金か、目的がある貯金かの区別を検討して改善して頂きたい。

Q 森林組合の配当金について。30年、令和元年と小海町、両相木で何千万と補助を出している、そして利益が出たからと高い率の配当だが、税金の還流ではないのか？

A 安全に、効率のいい搬出をしたいというところで補助金の陳情がありました。配当については総代会なり公のところで決定しております。

Q 事業継承の豆腐売り上げ収入について。今後の経営は？

A 現在協力隊が豆腐作りについて修行中です。7月以降一人立ちした売り上げの見込を雑入とします。今年度は町で経営し、来年度以降は協力隊への委託事業とするよう検討中です。

Q 書庫整理棚の購入費とは？

A 保管期限が一目でわかるような整理棚を購入し文書の整理を行います。

Q 分譲地設計委託料3,500万円の内訳は？

A 場所は本間地区に予定しています。まずは調査測量設計をしたいと思

ます。金額については大田団地を前例に比較し、面積的にもこのくらいで出来るだろうという目論見のもと計上しました。実際に業者からもらった見積はだいぶ高いため業者と折衝するなり努力が必要かと思

Q やすらぎ園運営費の工事費とは？

A 建設から30年余りが経ち4期にわたって工事を行います。令和3年度は電気設備工事、キュービクルの修繕を行い、その後は屋根の雨漏り、外壁、壁の亀裂等順次修繕していきます。

Q 障害者福祉検討委員会の検討結果と令和3年の取り組みは？

A 令和3年度からの障害者計画、障害者福祉計画と2つの計画と地域活動支援センターひまわり関係の将来的な話とグループホーム建設について検討しました。令和4年4月からは就労Bも含めた地域活動支援センターもやっていきます。グループホームは令和3年に中身を検討し、4年度の予算化を目指します。委員会の報酬については補正で計上させていただきます。

議案質疑

Q

ワクチン接種について、外出が不自由な人、車の運転のできない人の対応は？

A

タクシー券をご利用頂きたいと思えます。

Q

ワクチン接種について、車いすの方は移送サービスを利用してはどうか。移送のシミュレーションも必要ではないか？

A

おっしゃる通りです。必要ならばワゴンタイプの町営バスも活用します。3月中にシミュレーションも行います。

Q

ごみ処理関係費、草刈り久保の今後は？

A

施設は閉鎖し、放流水の水質検査は続けていきます。

Q

町営住宅建設工事費、前回はプロポーザルで今回入札にした理由は？

A

前回、忖度があったんじゃないかというようなことをおっしゃる議員がいたのでそんな疑念を持たれないよ

Q

う、今回は設計をしてから入札とします。

Q

ブドウの試験栽培について？

A

栽培される方が今年度もう1人増え2人になります。初期投資の費用とワインアカデミーの参加費について町の予算でみます。

Q

店舗等新築助成事業、制度を見直した点は？

A

改装した事業がその店舗の主な事業であること、趣味的な店舗は対象外となります。また併用住宅の場合は住宅に係る部分は按分して、助成率は25%とします。上限は200万円です。支払いについては領収書も可ですが、その場合はどこで、いつという聞き取りを行いますができるだけ振り込みでというお願いをしています。ネットバンキングの場合は確認できるものの写しを添付して頂きます。

Q

八峰の湯改修計画委託について、施設改修は1年先送りでもいいのではないか？

A

施設は、15年経っており、ボイラー、ろ過機、浴室等修繕が必要な箇所もあります。その辺も含め改修時期について検討していきます。

Q

会計年度任用職員の時間外報酬が多いが？

A

大部分が八峰の湯の従業員です。募集しても中々集まらず結果的に7時間を超えた勤務になるケースが多いです。

Q

必要な会計年度任用職員を増やしてゆっくりと働けるようにして頂きたい。

Q

各種イベント関係が軒並み昨年に比べ予算が増額されているが？

A

開催時のコロナ対策もありますし、コロナ禍明けを信じて予算計上しました。

令和3年度一般会計補正予算(第8号)

Q

耐震化推進事業とは？

A

盛土をしている場所、小海リエックスや松原のグラウンドなどを耐震に対応できるか国の補助をもらい調査しました。

問 命と財産は守れますか

答 町民課長 行政として最善の努力はします



小池 捨吉 議員

問 国道141号線から分岐する県道松原湖線八那池・リエックス間では、冬の事故が毎年起きています。松原湖より下りに向かって猪名湖食堂付近に道路凍結を強調する電光掲示板の設置はできないか

産業建設課長 県道松原湖高原線は佐久建設事務所維持管理課が窓口であり現在松原湖湖水入口手前に1基設置されておりです。電光掲示板は危険のお知らせや、温度表示等も遠隔操作で表示内容も換えられるということですが、1基設置するのに数百万円の費

用がかかるこのことです。県にお願いを考慮しております。

問 第6次長期振興計画では道路交通安全基盤整備について近年に多い重大事故防止のため、安全施設整備とあるが、絵に描いた餅にならないようにしていただきたい。

産業建設課長 県道、町道に於いても塩カルの散布等を丁寧におこない観光客や普段通らない方々に表示する面もありませんがスピードを出さずに余裕を持った運転を呼びかけると共に安全な道路につい

て再度チェックしてまいります。

問 最近火災による死亡事故が多い。住宅用火災警報器購入に助成金は出せないか。

町民課長 助成金支給制度は南佐久郡の町村にはありませんが、全戸配布でなく、高齢者世帯については検討していきたいと思えます。

問 住宅用火災警報器が設置してあっても電池切れしている可能性もあるため電池交換にも助成金は出せないか

町民課長 佐久広域連合の条例で義務づけがされているので電池の配布も含め老老世帯、老人の単独世帯で70歳以上の世帯について警報器の助成金制度をつくり電池も併せた中で検討してまいります。

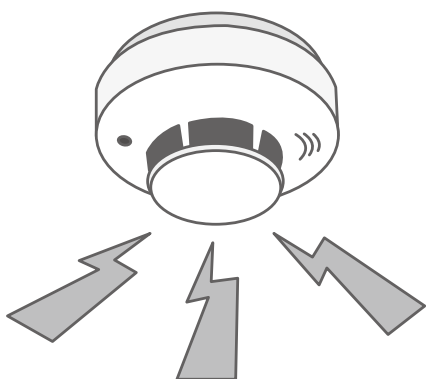
問 町営住宅について火災報知器は設置してあると理解していいでしょうか。高齢者で独り暮らしの方もおります。

時期を見て一斉点検をしていただきたい

町民課長 速やかに一斉点検確認をおこなってまいります。

問 火災警報器点検の必要性を防災無線で流していただきたいが

町民課長 防災無線だけでなく、全戸配布で文書等を通じて町民にお知らせしたい。



問 生活や買い物弱者に高負担を強いるな！

答 町民課長 困りごとを的確に把握し個々の対応を図ります



渡辺 均議員

民生費と弱者支援について

問 コロナは、全ての人に等しく襲い掛かるものではなく、最も弱い人にのしかかる。

民生費では、生活弱者を重視すべきで、生活弱者は買い物弱者でもある。移動販売事業は買い物弱者を支えるが、値段が高く弱者に高負担を強いている。また、衛生環境の悪い家屋に住むお年寄りも多い。地域包括支援センターでは、「認識しているが手が出せない。」とも言っている。民生費の取り扱いを考えたらどうか

町民課長 予算に現れてこない部分が多いが、困っていることを的確に把握し、個々の対応を諮りたい。

渡辺議員 消防や警察、介護や福祉というタテ割りではなく、横断するような地域社会の仕組みを作ってほしい。そこに予算を付ける。

町政への女性参画について
問 女性議会が取りやめに。理由は何か

総務課長 参加者を募ったが

応募が1名で、中止にしました。

渡辺議員 女性の意見を町政に反映させる仕組みを作ることとを要望します。

問 次に、職員研修にジェンダー問題を取り上げたらどうか、

総務課長 含めて、考えます。

渡辺議員 女性職員に役職者がいない。是正をお願いしたい。

体験宿泊施設の運営について

問 農業と文教に関わる体験施設は、誰が、どのように利用者提供するのか

総務課長 利用者の希望を聞いて役場の職員が担当します。

渡辺議員 それは、もっともらしく聞こえるが、目的意識に欠け、実効性に欠ける。例

えば、市の沢では花き農家が多い。農地やハウス、空き家もある。栽培技術者もいる。そこで、花卉栽培に関心のある方に、体験に来ませんか、とメッセージを送る。これを集落で運営する。こういう戦略が必要です。

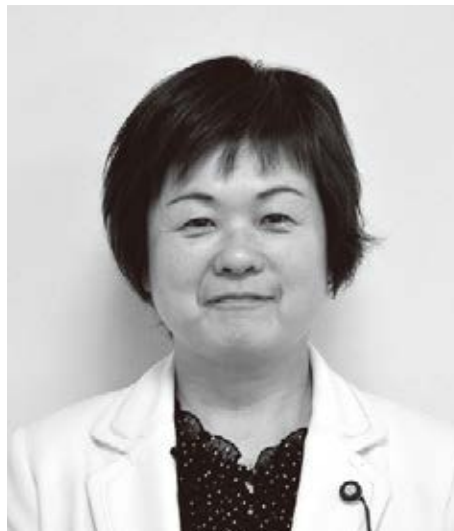
温暖化防止策について

渡辺議員 議会とは逆に、地球温暖化対策の実行計画策定が施政方針で示されました。チャレンジ支援金や集落支援事業の申請に、その活動は温暖化防止に効果がありますか、という項目を入れれば、それがそのまま温暖化防止の取り組みの第一歩になります。



問 令和3年度予算不要不急の事業が多いのでは

答 町長 急務であるという判断を私でした



的埜 美香子 議員

コロナ禍での町民支援を

問 学生の皆さん本当に大変。学生応援事業を又行つてはどうか。

産業建設課長 商品券を学生も対象にし、ご家族に配布します。

問 外出を控えているお年寄りの方が多く、寂しい思いをされたり、健康面も心配。

やすらぎ園所長 お年寄りの皆さんが社協の方に来ていたでいて、体を動かしたり、お

風呂に入ったり、引きこもりにならないように、移動の関係を強化し、社協の方に来れるような形をとつて参りたい。

問 町にはひとり親世帯が40世帯。支援策はあるのか。

町民課長 県の方の事業で児童扶養手当の対象になっておられるご家庭が20世帯、平均で40万ほどになります。児童扶養手当を受給されている方には、コロナ関係で5万円程度のコロナ給付もありました。町営住宅の寡婦控除世帯も7世帯ございます。

問 ひとり親世帯が40世帯に対し、児童扶養手当の支給が20世帯とはどうしてか。

町民課長 基準額を超えているか、親御さんのほうで年金をもらっている場合に加算の対象になつている場合は支給されない制度になっています。

問 誰にも相談できずに孤立するケースはないか。困窮家庭を見つけ、実態把握するためにも社協で行つているフードバンクを独自で行つては。

やすらぎ園所長 人口規模からいくと、佐久圏域で一緒にやつた方がいいのではと考えております。

問 不安を感じているという声が多い中、どのように把握し、どう応えていくのか。しっかりとした相談窓口体制を。

町民課長 ワクチン接種も始まるのでしっかりとした窓口、コールセンター等対応して参りたいと考えております。

問 令和3年度の予算を見たときに、不要不急の事業が多いと感じる。先送り出来る事業は急ぐ必要はないのでは。

町長 急務であるという判断を私でしたので、載せさせていただきました。

補聴器の購入に補助を

問 補聴器の購入費用を公費助成する制度が、加齢性難聴者は対象になっていない。年金で暮らす高齢者には重い負担。公的な補助制度を。

町民課長 制度設計に向けて他町村の状況を調査致します。



問 ワイン用ぶどう栽培の成功に期待

答 町長 明るい未来に向かい、町の使命として進める



新津 孝徳議員

新津議員 昨年から、町のワイン用ぶどうの試験栽培が親沢地区で始まりました。最近の当地区の野菜農家の売上は、ひと昔前のような勢いはありません。後継者も少なく、遊休農地があちこちに見えはじめています。こんな状況下でのワイン用ぶどうの栽培というところで、私は大変期待し興味を持ちました。そ菜農家とワイン用ぶどう栽培の双方があれば、若い人たちのＵターンや、移住にも選択肢が増え、後継者が出てくるのではないかと希望を持ちました。3年目には実をつけると聞き、

その早さにも驚きました。

問 試験栽培をすると決めた時点での町の構想を聞かせて下さい。

産業建設課長 令和2年度親沢で一反歩実施し、5種類の試験栽培をしております。新年度は笠原地区で一反歩に十種類の苗を植えたいと計画しています。あと1、2年で適種の選定をし、どんな品種が小海に適しているか検証して参ります。そして、その後おいしいワインづくりに向けていきたいと思えます。

問 ワイン用ぶどうの産地化としての考えは

産業建設課長 適種を見つけ一町歩で5トン収穫し、5千本のワインを作りたいと思います。一農家二町歩作付けということ、将来的には十町歩ほどにして、独自のワイナリーができればという構想を持っております。

問 二月の説明会の出席者の様子はどうか。

総務課長 町内から三名、東京から三名出席しました。東京からは仲間が五人いて、将来は法人化しワイナリーを造る希望を持っております。

新津議員 次に集落で花見のできるように公園作りについて伺います。町内でも山間地で、荒廃農地や遊休農地とならないよう守っている集落がある。観光地まで行かなくても近くに憩える所がほしいと思っている人も多い。

問 区民の要望に答える公園整備を町の事業でやっていただけですか。

町長 各集落からそういった意見、要望はあります。規模にもよりますが、集落支援金やチャレンジ支援金等を利用して集落の皆さんに頑張ってもらいたいと思います。そしてまた町に相談してもらいたいと思います。



問 未満児保育、無償で 若年世代定住・宅地販売促進を

答 町長 無償化は今のところ考えておりません



篠原 伸男議員

問 今年の保育園児は104人、保育料は長時間保育を除いて未満児のみが負担しています。産後、様々な理由により保育園にお願いしなければならぬ方々もおり、産後でも安心して働けるよう保育料は無償にすべきと考えますが町長のお考えを。

町長 どうしてもという皆さんに限って受けたという、もともとの理念でございますので、完全無償化は、今のところ考えておりません。

宅地販売や移住定住促進の 大きな目玉になる!!

問 女性の社会参加が進み、また、どうしても保育をお願いしていただければ働けない家庭も増えていきます。社会の流れは大きく変わっていきます。町は今年、宅地造成設計委託し、2024年頃には宅地販売の開始になります。コロナ禍により、リモートワーカーの地方移住、若い世代の小海町に保育料の無償化は、宅地販売をより一層促進するだろうし、子育てナンバーワンの小海町を積極的にアピール

することができません。年少、年中、年長の園児の保育料無償に時間がかかりました。しかし、今無償化はどこでも実施されており、小海町はそれを更に進め、他に先駆けた保育行政により、宅地販売、若い世代の定住促進を目指すべきではないでしょうか。

町長 即答はできないが、大変貴重な意見と心から承っております。

園児の健康管理に 看護師の配置を!!

問 園児が健康上の問題が生じた時、園児の親に連絡され、親がかけつけるようになりまます。しかし、実際、勤務している親が駆けつけることは大変です。保育士さんとその園児に専念することもあると思います。働いている親が時間的余裕を持って園児を迎えこれらよう保育園に看護師の配置はいかがでしょうか。

うか。看護師OBの方はボランティアでしてくれるという人もいますし、地域おこし協力隊の有資格者募集で対応できるのではないのでしょうか。

町長 看護師が足りないのが常態化していますが、OBや経験者である方等を含めて検討をさせて頂きたいと思っております。



保育を楽しむ未満児さん

問 この3年間、色々な問題が起きたが

答 町長 大きな失敗ではなかったと認識しています



井出 薫議員

町民目線の行政を推進するために、町づくり委員会を設置するのとあったが？

問 3年前、元気な小海町と挑戦・新鮮・実行を掲げて幾つかの政策を実際に実行されてきた。町づくり委員会を設置するとあったが？

町長 各区、民生委員会、各種審議会、委員会、協議会等全部出席し、町民の皆様の意見を拝聴してきました。元気な町を作るための意見の拝聴

はできていると思っています。

問 「町民の皆様の忌憚のないご意見、ご要望を町政に反映できるシステムを構築していこうと思います」と言われていたが、この取り組みは弱かったと感じています。

もう一点、予算提案で説明資料の未提出が問題となり、「資料を出す能力は職員にはある、また出さなきゃいけない」と答弁されているが？

町長 資料提示は拒んだことではないと思っております。

要求しても資料が出ない

井出議員 令和3年度当初予算、小海駅前再整備設計委託料1000万円、どういこうかとやるという資料がない、新分譲地宅地設計委託3500万円も。聞けば答えるという姿勢です。

令和3年1月4日開催の町長訓示、機動力5か条（町長ブログから）に問題ありという意見がある。「民間なら許されるが、公共団体では看過できない事項が見逃され、推奨されている」、これが様々な問題を招いている。

介護保険料4・7%の値上げ

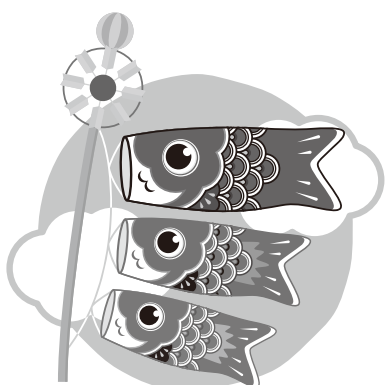
問 現在6万8800円の方が7万2000円です。第1段階の人の保険料は2万1600円になり、平均所得額5000円の4・32倍になります。どう思われますか？

町長 円滑な運営をしていくには、必要という認識です。

国保税、高くて本当に大変

問 全国の知事会などが、国保への「国の財政支援1兆円を」と言っている。国の制度のいいなりに、住民に課税すると、所得の低い皆さんの滞納が増える。こういう形が続いています。町の国保の貯金は5000万円です。この1部を使い国保税の値下げを町長の英断を求めます。

町長 国・県あつての町です。研究させていただきます。



臨時議会

令和3年第1回臨時議会 2月18日開催

補正予算

◆小海町一般会計補正予算（第7号）
5千5百45万円を増額し総額は52億1,060万円。主なものはコロナ対策事業の追加実施（1人当たり1万円のPマネー配布と1人当たり3千円の食事券配布等）とコロナワクチン接種に関わる予算の補正です。 全員賛成で可決

各常任委員会からの要望

民生文教常任委員会からの要望

●町営路線バスについて、令和3年度から新しい区間を運行することになるので町民に周知徹底するよう努力されたい。

○町長

町民に配布する町営路線バス時刻表には起点または終点を「福山（ナナース前）」と表記してわかりやすくするとともに、防災無線・公民館報などを活用した広報を実施し、町民への周知を徹底するよう努力してまいります。

予算決算常任委員会からの要望

●書庫の整理について、文書保存期間等により整理するとともに、不用品は処分を行うなど整理整頓に心掛けられたい。

○町長

書庫の整理につきましては、文書取扱規定に従い文書整理を行うとともに、物品の適切な管理と不用品の処分など、書庫の効果的な利用に努めてまいります。

●各事業実施にあたっては、事業計画等の作成により事業実施されたい

○町長

各種事業について、現在も計画、立案の基、事業を実施しておりますが、今後も事業の目的、期待する効果など解りやすい説明に努めてまいります。

●予算説明資料の作成にあたっては、詳細な説明資料の作成と根拠資料の添付等の対応をされたい。

○町長

予算説明資料については、分かりやすく表記するなど内容の検討を行ってまいります。また根拠資料の添付等細かい説明に努めてまいります。



編集後記

4年任期の最後の年はコロナ禍で色々な行事への参加もできず、町民の皆さんとの直接的な関わりも減る中で、いかに日常的意識的に結びつくことが議会人として大事かということをつくづく感じる一年になりました。

このコロナ禍で医療・福祉の脆弱さや環境破壊など様々な問題が浮き彫りになりました。際限なき利潤を追求する資本主義の限界を唱える声も多く、コロナ後の世界をどういう世の中にするのか人類的課題です。

「今だけ、金だけ、自分だけ」とほんの一握りの人が全世界を支配するような時代は終わりを告げているのではないのでしょうか。地域自給力を高め、いかに地域で支え合いを構築できるかがキーワードとなりそうです。



- 編集委員長 井出 薫
- 編集委員 新津 孝徳
- 編集委員 的埜美香子
- 編集委員 有坂 辰六
- 編集責任者 鷹野弥洲年
- 編集委員 的埜美香子

